

令和4年第1回定例市議会

教 育 行 政 報 告

恵庭市教育委員会



第1回定例会が開催されるに当たりまして、令和3年第4回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う市内小中学校の対応について

はじめに、新型コロナウイルス感染拡大に伴う市内小中学校の対応について申し上げます。

1月27日から2月20日までの期間において、恵庭市を含む北海道全域が「まん延防止等重点措置」区域に指定されたことを受け、感染拡大防止に向けた対応について、北海道教育委員会から通知がありました。

通知では、陽性が判明した児童生徒や教職員等との接触状況に応じて、臨時休業等の範囲や期間を決定することとなっており、市内の小中学校でも児童生徒や教職員等の陽性が判明した場合は、学校の一部または全部を閉鎖するなど、感染拡大防止に向けた対応を行っております。

また、感染防止対策として、小中学校の水飲み場や特別教室の水栓の蛇口の一部を、レバーハンドルや自動水栓に交換いたしました。

引き続き感染状況を注視しながら、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき感染症対策を徹底するとともに、子どもたちの健康を守ることを第一に考え、教育活動を進めて参ります。

児童生徒用タブレットパソコンの活用状況について

次に、児童生徒用タブレットパソコンの活用状況について申し上げます。

国の「GIGA（ギガ）スクール構想」に基づき、各小中学校では児童生徒用タブレットパソコンの整備が完了した学年で、順次、学校内での授業や各家庭での学習において活用しております。

また、新型コロナウイルス感染症による出席停止や不登校の児童生徒への対応、さらには感染拡大に伴う学級閉鎖等を実施した場合において、オンライン学習を実施した学校もあるところです。

学校給食について

次に、学校給食について申し上げます。

学校給食による食育の推進につきましては、11月21日に北海道文教大学と一般財団法人恵庭市学校給食協会との共催により、小学校1年生から3年生までの児童と保護者による「食育教室2021」を34名の参加者のもと開催し、地元産食材を使った料理を作り、作る楽しさや恵庭の食材の豊かさなどを体験していただいたところでもあります。また、新型コロナウイルス感染症対策として、参加人数を1テーブル4人に限定し、手洗い、マスク着用などを行い実施いたしました。

子どもたちの体験活動について

次に、子どもたちの体験活動について申し上げます。

子どもたちがさまざまな体験活動を通して興味や関心を持ち、夢を育むことを目的に、「公民館・みんなで楽しむクリスマスピアノコンサート」や、「かしわのもりでストリート・ピアノ！」などの事業を開催し、参加した子どもたちから好評を得たところでもあります。

なお、開催当日は参加人数の調整など、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期して実施いたしました。

新成人のつどいについて

次に、新成人のつどいについて申し上げます。

社会人の仲間入りをする新成人を祝福・激励する「新成人のつどい」について、新型コロナウイルスの感染拡大により2度の延期となった「2021年新成人のつどい」を12月26日に開催し、待ちわびた349名の新成人が参加いたしました。

続いて1月9日には、「2022年新成人のつどい」を予定通り開催し、482名の新成人が参加したところでもあります。

いずれの式典も、中学校区ごとに4部に分けて行うなど、感染症対策を徹底して実施いたしました。

なお、本年4月1日より成人の年齢が18歳に引き下がりますが、本

市の成人式は、今後も満20歳に達する年度で実施して参ります。

読書活動の推進について

次に、読書活動の推進について申し上げます。

北海道を代表する版画絵本作家、手島圭三郎氏の原画巡回展示を市内小中学校にて行いました。小学校は、9月から11月に「ふくろうのみずうみ」の作品を、中学校は10月から12月に「エタシペカムイ」の作品を巡回させ、児童生徒たちに本物の美術作品に触れる機会を提供し、絵本作家への興味を喚起させ、読書活動の推進を図りました。

また、第2回司書教諭及び学校司書合同研修会を、12月9日に図書館本館で行いました。「学校図書館を活用した授業の実践」と題し、市内小中学校の事例を発表し、研究する機会としたところであります。

郷土資料館事業について

次に、郷土資料館事業について申し上げます。

郷土資料館では、1月4日から1月27日まで、令和3年中に市民の皆様より寄贈いただきました資料の一部を展示する「令和3年 新収蔵資料展」を開催いたしました。

また、アイヌ文化を保存・継承・振興するとともに、アイヌ民族の歴史や文化に対する理解を深めていただく事業として、市内の中学生4名の参加による「アイヌ文化マスター育成事業」の全8回の内、5回目から7回目までを、12月5日、12月19日、1月16日に、白老の国立アイヌ民族博物館での体験・見学や、アイヌ文化の講座を受けました。

埋蔵文化財関連事業について

次に、埋蔵文化財関連事業について申し上げます。

埋蔵文化財の保護と史跡整備への理解を深めていただく事業として、12月18日に「道央部の遺跡」をテーマとした、「カリンバ土曜講座」の全3回の内、3回目を開催いたしました。

今後も、引き続き各種啓発・普及事業を推進して参ります。

学校教育施設の整備について

次に、学校教育施設の整備について申し上げます。

施設の老朽化対策となる恵庭小学校長寿命化改良事業の3期目工事として、管理棟と南校舎の一部の改修工事を終了しております。

また、事業の前倒しを行った恵庭小学校講堂トイレ改修工事についても終了しており、各トイレを洋式化するとともに、バリアフリー化の整備となる多目的トイレを設置いたしました。

以上、令和3年第4回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

今後とも、恵庭市の教育水準向上のため一層の努力を重ねて参る所存でありますので、議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げます。